



常に己とカクトー中！

えびの市立加久藤中学校
令和7年9月12日発行
文責：校長 野口 貴史

■ 1学期後半がスタートして2週間が経過！

7月23日からの長い夏休みを終え、8月27日から1学期後半の授業がはじまりました。

夏休み中には生命に関わるような大きな事件・事故はなく、授業日を迎えることができました。保護者の皆様にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

ただ、夏休みの後半は、多くの生徒が課題の提出に追われる毎日を過ごしていたようです。先生方も、十分に課題が終わっていない生徒に対しては、学校に呼んで指導する姿が見られました。このことについては、まだまだ努力と心がけが必要なようです。

今後も、「計画的な学習」については、学校で指導してまいります。

ご家庭においても、どうかご指導をよろしくお願いいたします。

■ 第2回校内テスト終わる！

昨日で第2回校内テストが終わりました。終わった後の生徒たちの表情を見ると、やるべきことをやり終えたという充実感なのか、とりあえず終わったという開放感なのか、とにかく笑顔が窺えます。

現在、職員室では採点業務に必死な先生方の姿が窺え、来週中にはその答案が返ってくると思います。テストは終わった後が肝心です。テストは、自分の強いところよりもむしろ、自分の弱いところ、つまり出来ないところや覚えていないところ、忘れてしまったところが発見できるチャンスだからです。そのチャンスを無駄にしているのは、いっこうに実力はつきません。ある程度の点数で満足しきっている人がいれば、満点がとれなかったのは、まだまだ自分に弱いところがあるからだということに気づいてほしいと思います。そして、その弱いところをこのチャンスに強くしてほしいと思います。

やがて、高校受験がやってきます。弱いところを一つずつ一つずつ強くして、入試でその問題に出くわした時、テストの悔しさを晴らすつもりで、テストのやり直しに取り組んでほしいと思います。

ご家庭でも意識付けをお願いいたします。

■ 地域学習「えびのの歴史と自然」を実施！

8月29日、総合的な学習の時間（えびの学）において、加久藤まちづくり協議会会長の上谷川則男さんを講師に招き、地域学習「えびのの歴史と自然」を実施しました。

既に学校通信第2号でお伝えしましたが、私は学校経営における本年度の重点取組事項

の一つに「『えびの学』の推進によるシビックプライド（地域への誇りと愛着）の醸成」を掲げています。そこで、まちづくり協議会へ出向き、今回の講師である上谷川さんを含む会員の方々に相談をしてきましたが、上谷川さんから地域への誇りと愛着を抱かせるステップとして、「まずはえびののよさを知ることが必要である」とのアドバイスをいただき、本校のPTA会長も務められたという縁もあることから、「かつん子のためなら」と快く講師を引き受けて下さいました。

上谷川さんは、過去にえびの市歴史民俗資料館の学芸員を務められた経験もあり、えびのの歴史と自然についてとても丁寧に詳しく教えていただきました。中でもびっくりしたのは、`加久藤、という地名の由来です。もともと`久藤（ひさふじ）、という地名で、島津義弘公が青年期にこの地を治めることになってから、義弘公が育った`加世田、の`加、の一文字を加え、`加久藤、となった一説があるそうです。

あらためて、生徒や先生方にとっても、えびののよさを知ることが出来る貴重な機会となりました。

えびの市は人口減少が著しく、消滅可能性自治体の中に含まれます。えびの市の未来を担う子どもたちに`地域への誇りと愛着、を抱かせることは、えびの市存続の絶対条件だと思っています。また、学校でも新たな仕掛けを模索していきます。

本校に対するご意見・ご要望、お便りなどを、どしどしお寄せください。お待ちしております。校長 野口



